

【学校教育目標】

○広く豊かな心を持つ ○自ら学ぶ ○心身を鍛える

【目指す生徒像】

○他者との共生の中で自分の持ち味を発揮できる生徒
○主体性と思いやりのある生徒
○正しい知識と判断力を身に付けた生徒
○何度でもチャレンジできる生徒

館林市立第三中学校 学校だより

【発行者】第19代校長 橋本文明



全校一心

—「笑顔」「前向き」「感謝」「尊重」—

令和7年3月13日(木) vol. 13

ああ 我が第三中学校 ⑬

—校舎の廊下はいつから!?!—

本校の校舎は、昭和47年に完成したときには、ベランダが廊下と兼用になっており、いわば「廊下のない学校」でした。下の『銀杏』の写真をよく見るとわかります。その後、平成5～6年に大規模改修を行い、現在に至ります。

Be Forever 第三中学校卒業

輝く未来へはばたけ



卒業おめでとうございます。心より祝い申し上げます。

令和4年4月7日に本学年のドラマが始まって以来、総登校日数(総ドラマ回数)は602日を数えました。いよいよ今日が最終回。3年間のドラマに幕がおります。

振り返れば楽しいことばかりではなかったかもしれませんが。時に辛いことも、時に悲しいことも、悔しいこともあったかもしれません。でも、それは今日の卒業式ですべて中学時代の思い出になってしまいます。

キミたちは今日、中学校卒業証書を手にします。その証書は単に卒業を意味するだけではなく、3年間、仲間と先生たちと心をぶつけ合って成長した証だとも言えるものではないでしょうか。学習ばかりのものだけではないはずです。身も心も立派に成長した証なのです。席を立てて担任から呼名され、私から受け取り、着席するまでの間、ぜひ中学3年間の振り返って、その証書の重みを感じてください。

さあ、館林市立第三中学校を卒業して新しい生活に入ると、もっともっと楽しいことや厳しいことがあるかもしれません。でも、キミたちの持ち前の明るさと、ここで培ってきたパワーでのりきってください。皆さんならできるはずです。私はそう信じています。

123名の卒業生の皆さん。どうぞ希望に燃えて新しいステージに飛び込んでいってください。もし、辛かったら羽を休めに立ち寄ってください。

毎日が充実した日々であるように、私たちは陰ながら、いつまでも見守り応援し続けます。

3年生の保護者の皆さま、3年間お世話になりました。

この3年間、皆さま方には、生徒の健全育成のために、心温かいご支援・ご助言・ご協力いただきまして、本当にありがとうございました。おかげさまで、無事卒業式を迎えることができました。

思えば、中学校時代は、長いようでもあり、短いようでもあり、複雑な気持ちでいらっしやることと思います。3年間を経て生徒は立派に大きく成長しました。でも、まだまだ幼いところも残っています。これからは温かく見守ってあげてください。そして、子どもたちがさらに大きくはばたいていくことを期待していきましょう。

様々な行事等で、生徒をはじめ、私たちをも励ましてくださった皆さまに大変感謝しております。心よりお礼申し上げます。

ありがとうございました。



3年生の3学期<45日間>も終了。生徒たちは、授業や高校受験、その他行事で精神的な強さやたくましさ、そして優しさを一層成長させてきました。

1月、ひきしまる気持ちで新年のスタート。冬休み中には、私立高校の学業特待試験や推薦単願試験も行われ、受験生という自覚も出てきたのではないのでしょうか。その結果に、これまでの成果があったと感じられた人、あるいは、受験は甘くはないと反省させられた人も多かったですね。面接練習や群馬・栃木・埼玉公立選抜関係の提出書類も整い、本番ムードがだんだんと高まってきました。私立単願者がぞくぞくと進路先を決定し、焦りが出始めた人もいましたね。中学時代最後の期末テストも行われ、このテストを乗り切った後には…。

2月、そう乗り切った後は各公立選抜! 校長先生からの

3年生の3学期の振り返り

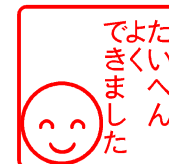
エールを受け、一人一人ベストを尽くしてきました。28日には卒業記念品のジンダイアケボノを植樹し、午後は予餞会。後輩達のあたたかく愛のある動画や実演でした。

3月、卒業式練習が始まり、給食をあと何回食べられるかのカウントダウンが始まり、いよいよ卒業というフィナーレに向けて動き出しました。7日午後には最後の球技大会があり、大盛り上がり。卒業アルバムや生徒会誌『銀杏』が手元に届き、12日の卒業式予行練習が済みしました。残すは今日の卒業証書授与式のみとなりました。

今日は、第56回卒業式。みなさんの晴れ舞台の日です。堂々と式に臨み、よい式を創り上げ、共に感動し合ひましょう。

全てのことを最後までやり切って、全ての意味で中学校を卒業しましょう。

3年間お疲れ様でした。



熱演! 予餞会

本校の予餞会(3年生を送る会)は、部活動単位で発表をして、3年生を楽しませます。それが2月28日(金)午後、体育館で行われました。

この会では、生徒たちの違う一面を発見できる楽しみがあります。各部活動とも、ユニークな演出と脚本、凝った動画編集やコント等、いずれも愛のある感謝を込めた作品でした。少々やり過ぎてしまった部もありましたが、今時の中学生のエネルギーや個性を再発見できました。<写真左から、男子テニス、吹奏楽、美術、

陸上、体操>



生徒会誌『銀杏』命名の由来

3年生には、本年度の生徒会誌『銀杏』第53号が届いたかと思っています。私も第11号に作文を寄稿しています。歳をとってから読む『銀杏』は味わい深いです。

さて、昭和47年3月発行・生徒会誌『銀杏』創刊号でPTA会長・古茂田良澄氏が巻頭言で次のように述べています。これが『銀杏』に込められた想いです。

「公害の甚だしい都会にあっても枯れることなく、春は若々しい緑に、そして秋は朝日をうけて金色に輝く銀杏、それは生命のたくましさ、自然がつくり出した美の、シンボルでもあると思います。第三中学校の庭にも、この銀杏が澤山植え込まれ、これにちなんで、生徒会誌も銀杏と名づけられたことは、この学校の、そしてこの学校を巣立つ生徒さん方の、大きな未来を象徴しているように思えて、喜びにたえません。」(本文通りに掲載)



なお、校長室には、本校の生徒会誌『銀杏』創刊号から本年度号と六郷中学校生徒会誌「草笛」、三野谷中学校生徒会誌「葦」が眠っています。



体育館がなかった頃は、生徒総会は校庭です